

経営比較分析表

岐阜県 板祝町

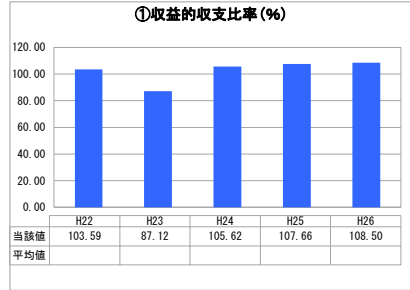
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	22.48	100.00	3,130

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,344	12.87	648.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,863	1.00	1,863.00

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



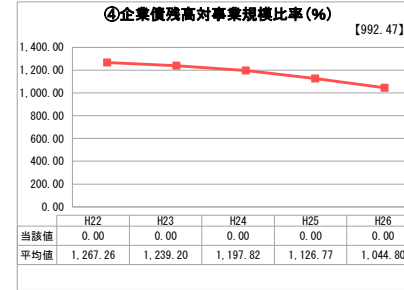
「単年度の収支」



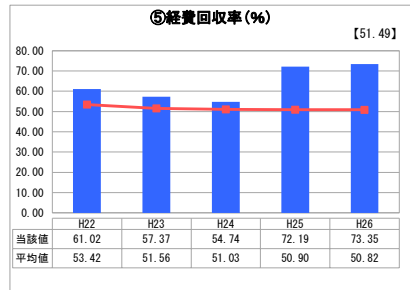
「累積欠損」



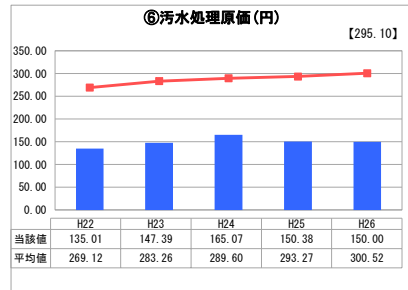
「支払能力」



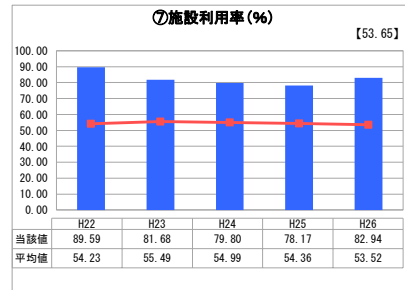
「債務残高」



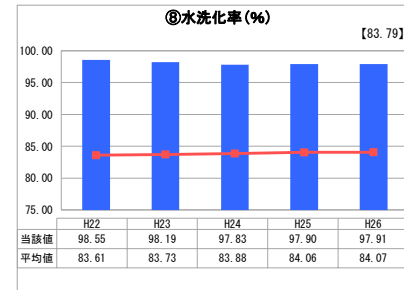
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

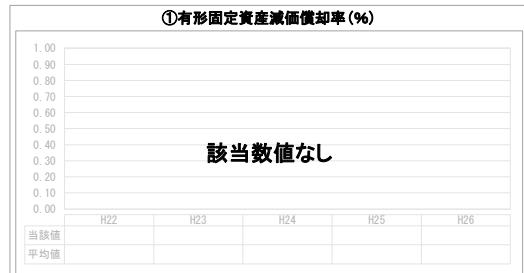


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

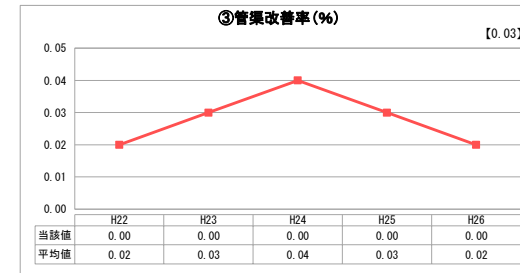
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率(%)
当町は、このグラフから収益的収支において、収入内での経営(運営)がなされております。この収支的収入の内訳は、下水道料金が約5割強となっており、それ以外の不足の分は、一般会計繰入金に頼っているのが現状であります。平成25年度から料金改定により、若干の収入増の傾向にあります。

②累積欠損比率(%)なし

③流動比率(%)なし

④企業債残高対事業規模比率(%)なし

⑤経費回収率(%)
このグラフから下水道料金で賄う率は、平成25年度の料金改定もあり、全国平均より高い現状ではありますが、それでも割が料金不足であり、適正な料金改正などの対策が必要となります。

⑥汚水処理原価
全国平均より安くなっております。今後の人口減少、節水による収入の減少を、経費削減・汚水処理方法などの対策をしながら現状維持することが必要となってきます。

⑦施設利用率
現在当町は4施設(一色、黒岩、西部、深室第2)処理場があり、全体の合計では全国平均より高い加入率となっております。但しこの中の施設の内、1施設においては、全国平均より低く、今後どのように加入率を増加させ健全な経営を行うかが課題となります。

⑧水洗化率
処理区域内の方はほとんど下水道に加入されている為に、全国平均を上まっております。

2. 老朽化の状況について

当町では、現在4処理区があり、昭和63年、平成4・6・8年と供用を開始し、約20年度以上が経過しております。その為、施設の機械設備等の故障、管路からの不明水の流入が目立ち始めており、緊急性がある箇所から修繕を行っております。また平成4年に供用を開始した黒岩処理施設では、処理処理槽や機械機器等の改修工事を平成27年度から施工しています。その他の処理区では、近い将来、施設・管路の改修・耐震補強など計画的な施工計画が必要となります。

全体総括

当町は、面積が小さく、人口も少ない小さな町であります。下水道は、公共下水道区域と、農業集落排水処理区域があり、殆どの地域で整備が終わり維持管理型の運営を行っております。また農業集落排水処理区の施設や管路などが供用開始から約20年以上を経過し、近い将来多額な更新費用(改修費)が必要となります。現在は、料金等の自主財源で賄うことが出来ず、不足な費用を一般会計からの繰入金に依存している特別会計事業であります。その為に「中身が見える会計」である公営企業会計に平成31年度から移行し経営分析をして現状を把握し、無駄な経費削減、料金改定などで、安定的な経営(運営)を目指すようにしていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。